

【さんすう】

<べんきょうすること>

◆「いくつかな」（きょうかしよ 18～19 ページ）

(1) 1（いち）、2（に）、3（さん）、4（し）、5（ご）、6（ろく）、7（しち）、8（はち）、9（く）、10（じゅう）のかずを、かみに1まいずつ、ていねいにかいてみよう。



どんなかみにかいてもいいですよ。

(2) 「どっちのかずがおおきいかな」ゲームをしよう。

かみにかいたすうじを、2まいいっしょにだして、どちらがおおきいか、くらべてみよう。



すぐにわかるかな？

どちらが
おおきいかな？

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆「いくつかな」（教科書 P18～19）

- ・数字を見せ、「どちらが大きいかな」をあてるようなゲームを行うなど、一緒に遊ぶことを通して、数の大小について楽しみながら理解できるようにすることが効果的です。